



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol. 11
2012年5月号



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

月信に掲載しなかった補足情報をホームページに掲載しております。<http://ri2710.com/>をご覧下さい。

ガバナーメッセージ GOVERNOR'S MESSAGE

インターナシティ・ミーティング(IM)を終えて



国際ロータリー第2710地区
2011～2012年度ガバナー

田村 泰三

1月21日のグループ1に始まったIMは3月25日のグループ12で終了しました。2つのグループが合同で開催されたところが2か所あり、合計10回のIMでした。今はRIの公式プログラムからは外されていますが、第2710地区では恒例行事として行われていることから、ガバナー補佐の皆さんに開催を要請していました。

すべてのIMに出席してその素晴らしさ、熱気に圧倒されました。是非公式行事として再度加えられるべきであると思いました。しかし、公式行事でないからこそ自由に、規制に縛られることなく開催できることも大きなメリットです。それほど内容が充実しており、参加されたロータリアンの皆さんも、楽しくリラックスして、ロータリーの見識を広め、親睦を深められたことでしょう。

IMは近隣のロータリー・クラブがそれぞれの活動状況、考え方を述べ合い、単独のクラブでは気づかないことに気づくという目的を見事に達成していました。

今年度の大きな課題の一つである東日本復興支援のテーマも多く取り上げられました。被災地区のロータリアンも参加してくださり、具体的で分かり易い支援活動が進められています。現地に行ってニーズを探り、プロジェクトを作つて行動に移すという過程を被災地区のロータリアンと協力して構成していく様子は、今まで築かれたロータリーの奉仕活動をこのような応用分野に發揮できることを見事に示していると思いました。

ロータリー財団の未来の夢計画を取り上げられたIMもありました。今までクラブが行ってきたロータリー財団を利用したプロジェクトを、新しい制度に発展させていく考え方や手法を発表され、一人一人のロータリアンに新しい制度に臨む心構えを育てる素晴らしい試みと思いました。効果が大いに期待されるところです。

認知症の人と家族を地域として支援する問題を取り上げられたIMでは、既に行政によってつくられている支援組織の活動を紹介され、これに社会の受け皿としてロータリアンが加わることをお互いに確認できる糸口が形成されたように思われました。IMとしては難しいテーマかと思いましたが、今まで多彩な課題を積み重ねられた経験を見事に生かされたと思いました。今後の展開が期待されます。

新世代奉仕を取り上げられたIMでは、青少年のスポーツの指導に携わられる方々の話しをもとに進められました。新世代奉仕は、世代を超えた若者とのこころの繋がった交流を形成することに苦心しています。ロータリアンが若い人と同じように、ロータリー精神を行動することによって学び続けるという態度で接することにより、若い人たちが私たちロータリアンを受け入れ、こころがつながるように思われました。最も苦手な分野に明かりが見えたように思いました。

各IMで基調講演をしてくださった講師は一様に自身が「超我の奉仕」の化身のような方ばかりであり、超我の奉仕と名付けられたロータリー精神が確かなものであることを改めて認識しました。IMのテーマはそれぞれ違っても、ロータリーの本質は「人を幸せにする」という目標にあることを学ぶものであり、今年度のRIテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を実践するものであると思います。IMの開催に意欲とエネルギーを注ぎ、見事なリーダーシップを発揮してくださったガバナー補佐の皆さんと主催クラブの実行委員の皆さんに大成功を称え、こころから感謝を申し上げます。



2012-13年度PETS&地区チーム研修セミナー報告

2012-13年度地区代表幹事 松田修典



小雪が舞った前の週とうつて変わり、やっと春らしい日差しのともどった3月18日(日)、PETS&地区チーム研修セミナーが、ホテルグランヴィア広島で開催されました。第2710

地区内のクラブ会長予定者と地区委員会責任者が一堂に会し研修を行ないました。

午前10時に田村ガバナーの点鐘、ご挨拶に次いで、大之木GEより来賓、役員の紹介の後、次年度地区研修リーダー諏訪昭登PGのご挨拶がありました。

合同本会議の冒頭で大之木GEは、田中作治RI次期会長の唱えておられる“奉仕を通じて平和を” “Peace through service”のテーマを実践していくのに「奉仕」の概念とその実行の方法を考えて欲しい、ロータリーの何なるかを再度学習し、ロータリーの原点を見つめ直して欲しいと述べられました。

また最重点項目に「ロータリーの学習強化」をあげ、ロータリーで自分を磨く喜びが他人にも喜びを分かつという幸せを実感して欲しいと、「もっとロータリーを!心と行動に」と次年度の地区信条を掲げ、みんなに熱く語りかけられました。

続いて、元RI理事南園義一PGが「新年度ロータリー活動とRI戦略計画」、R財団委員会カウンセラー川妻二郎PGが来年広島で開催される「ロータリー世界平和フォーラム・広島」との二題の基調講演がありました。

ロータリー世界平和フォーラム・広島は川妻PGが委員長を務められ、2013年5月17, 18日に広島国際会議場を主会場に開かれます。ロータリアン、青少年、他団体からの1200名の参加が予定されており、このたびは広島、ベルリン、ホノルルで開

催されますが、RI会長直属のロータリー世界平和会議です。広島のテーマは“平和はあなたから始まる”です。田中RI会長主催の国際的フォーラムで、広島とロータリーをアピールする絶好の機会です。地区会員はこぞって参加、協力したいものです。

午後の部に入り、次年度R財団地区コーディネーター松本茂太郎PGに「ロータリーの人づくりと職業奉仕」と題して、米山記念奨学会委員会カウンセラー仁田一也PGにDVD映写をまじえての「米山記念奨学会について」、地区R財団夢計画準備委員会伊賀訓之委員長に「未来の夢計画における計画年度の対応」というテーマで講演をいただき合同本会議の前半を終わりました。

ひき続き部門別研修に入りました。二部門に分かれて研修を行ないましたが、会長エレクト部門では、大之木GEより「クラブ会長の役割と責務」と題しての講演がありました。次いでグループ合同会員研修セミナーについての説明が長行事次年度地区副代表幹事からあり、各ガバナー補佐を中心にグループセッションに移り、グループごとに、それぞれのテーマで熱心な話し合いをもって頂きました。

地区チーム研修部門は島村次年度副代表幹事の司会で始まり、諏訪PGから「地区委員会の重要性」という講演をいただき、委員会別のディスカッションを行ないました。

続いて合同本会議第二部に入りました。次年度地区活動計画を、地区組織、地区主要日程、地区協議会、公式訪問、会計予算、地区大会についてそれぞれの責任者が説明を行い諏訪PGのまとめ、大之木GEの謝辞で会議の全日程を終了いたしました。

合同懇親会も和気藹々のうちに終わり、丸一日を要したスケジュールを終了し会場を後にしました。



ロータリー世界平和フォーラム広島について

2013年5月17日(金)～18日(土)

ロータリー世界平和フォーラム広島

ホスト委員長 川妻二郎 (広島南)



2012-13年度RIの田中作次会長エレクトはサンディエゴの国際協議会でRIテーマを「奉仕を通じて平和を」と発表されました。この1年、世界の34,000のクラブで平和に焦点を当て話し合ってほしい。とりわけベルリン<10月>ホノルル<1月>広島<5月>の3回に亘りRI主催のロータリー世界平和フォーラムを開催すること、更には広島のフォーラムのテーマを「平和はあなたから始まる」と決められました。

この為の組織として会長直属の「世界平和會議委員会」を設置、委員長はジアイ96～97元会長、10名近くの委員会には指名された3都市のホスト委員長も加わっています。

従って我々はこの委員長の指揮下にあり、報告も求められます。しかし資金についてはmust be self supportedと書かれているだけです。

ホスト委員会の編成はコンセプト、事務局機能の検討のため錦織亮雄(広島東南)井内康輝(広島南)佐伯祐司(広島南)の諸氏にスペシャリストとして入ってもらい、更に地区とクラブの活動に繋ぐことも併せて3人の田村泰三(11～12)大之木精二(12～13)沖田哲義(13～14)ガバナーにも加わっていただき、アドバイザーに南園義一元理事での8人体制です。

田中会長の熱い思いを受け止めて、ホスト委員会では、ロータリアン、海外、新世代、地域も入った新しい形のフォーラムにしたいと検討中です。平和を次の世代につなげるよう。講演を少なく参加者からの発言の機会を多くする。年齢、肩書に関係ない開かれた交流ランチミーティングをもつ。登録・広報・記録などはICTを駆使して効率的に。など工夫したいと考えています。

すでに、国連ユニタールとの連携なども決まり、広島という「平和の拠点都市」での開催は特に意義深いものになると思いますので、ご期待いただけたいと思います。

第2710地区の各クラブへのお願いとこれから予定

*登録者が多すぎても、また少な過ぎても困る大変難しい会合と覚悟していますが、状況をお伝えしながらご協力をお願いするつもりです。新世代の皆様とともにご参加いただきますようお待ちしております。

*資金については全国の各地区を通じて全ロータリアンに300円のご寄付をお願いしておりますので、これまたよろしくお願ひします。

*HPは4月中旬からアップしています。

*事務局は今のところ10月頃開設予定

*実行委員会は2013年3月頃立ち上げる予定

地区ホームページ5月度更新、掲載予定記事

- ガバナーメッセージ ビデオ版vol.10
- PETS講演記録 ビデオ版 大之木GE、南園PG
- 米山ハイライト(PDF)
- 74クラブ会員増減表(PDF)



IM開催報告 グループ2

グループ2
ガバナー補佐 西村稀一郎

2012年3月4日(日)にRI第2710地区、グループ2の『インターナショナル・ミーティング』が山陽小野田市の江汐湖近くにある『ナチュラルグリーンパークホテル』に於いて開かれました。

出席クラブは萩RC、萩東RC、美祢RC、宇部RC、宇部西RC、宇部東RCそして小野田RCの7クラブです。7クラブの会員数は約280名。IMに集まった会員はその60%の約160名が集いました。

IMの実行委員長の松本会員は「今度のIMのコンセプトは参加者全員が能動的になれる様な大会にする。過去の大会はどちらかと言えば参加者が受動的になっていた気がするので」と発表。

まず登録から始まる。「IMに参加する人からのみ登録料を徴収する」ことに決定。過去の大会は全登とか、60%以上の登録とかあったがそれは無視、例え少人数しか集まらなくてもそれはそれで良いという事に。

大会は第一部、第二部、第三部に分かれ、第一部はお互いのクラブの特徴を良く知る為に各クラブ会長に10分間で自分のクラブの一番の特徴を話してもらうことに。

第二部は将来に向けてIMは如何あるべきかを各クラブの次年度会長予定者に1人8分程で話すことに。

司会は小野田RCの会長経験者の田中剛男君と藤原哲君が行った。第一部、第二部共に質疑応答の時間を取りっていたが時間が少ない位であった。第一部、第二部終了後に田村ガバナーの講評があり終了。

第三部は懇親会である。この懇親会場にゲストとして登録があった東日本大震災のあった地区から石巻東RCの菅原信武さん、仙台レインボーレイクスの秋田陽子さんの2人が復興の為に行われる

予定の萩出身、河村孫兵衛さんが石巻市に定着させた『孫兵衛船競漕』が出来なくなりそうなので協力して欲しいと皆に呼びかけ参加者は協力。

なお、この大会に萩及び萩東RCは大変な苦労をされて協力されたことを特に報告致します。

参加された会員諸兄には少しは満足いただけたか如何かが少し心配がありました。



IM開催報告 グループ5

グループ5
ガバナー補佐 伊藤進吾



G5のIMは、東日本大震災被災発生から翌日で1周年となる3月10日、岩国ロータリークラブ主催により岩国国際観光ホテルにて開催されました。

IMのテーマは、ズバリ「東日本大震災復興支援・私たちに何ができるか?」とさせていただきました。主催者として私は次のようにお話ししました。「IMの本来の目的はロータリーの理念や哲学を学び、ロータリー情報を得る場です。いま、ロータリーは大きな変革期を迎え、この時期だからこそ『RIの戦略計画』や『ロータリー財団の未来の夢』を取り上げなければなりません。しかし、未曾有の大震災から明日で1年を迎えるこの日、どうしても東北復興支援を話し合いたいと考え、復興支援に特化したIMにさせていただいた」と。

記念講演では、仙台市を中心に司会や朗読など幅広く活躍されているフリーアナウンサー渡辺祥子さんに「絶望を希望に変える力・被災地での体験をとおして」をお話しいただき、続いてパネルディスカッションに移りました。

岩国・柳井の5クラブからパネリストとして登壇いただき、これまでに実施した支援活動、そして今後の支援予定について報告をいただきました。詳細について記すことは紙面の制約上不可能ですが、5人のパネリストの発表により、それぞれのクラブが、クラブとして、そして個人として、様々な形で支援をされたことが理解できました。



第2710地区の支援状況は、田村地区代表幹事や福田財団委員長から、漁船をすでに10隻以上支援したことや、石巻に孫兵衛船を贈る計画が進んでいることなどが報告されました。

被災地の仙台からは遠路にも拘らず、仙台南ロータリークラブ佐藤会長・星幹事、そして仙台青葉ロータリークラブの大江さんに参加していただいたので、佐藤会長から被災地の現状と継続支援の必要性をお話しいただきました。

ディスカッションの後半は、「風評被害」をテーマにしたいと考えていましたが、残り時間が少なく十分な意見交換ができず、「瓦礫処理の問題を真剣に考えよう」「風評加害者にならないようにしよう。ただ東北産というだけで、ただ福島産というだけで拒否する冷たい気持ちはなくそう。」と訴えるに止まったのは残念というほかありません。

懇親会には、名誉会員でもある福田岩国市長にも駆けつけていただき、東北3県(岩手・宮城・福島)から取り寄せた銘酒コーナー、そして東北の名物料理の屋台を数台ならべ、東北支援に思いを寄せつつ会員相互の交流を図りました。





合同IM開催報告 グループ6・7



グループ6 ガバナー補佐



グループ7 ガバナー補佐

齊藤 隆幸 久笠 信雄

昨年の東日本大震災では、約2万人の死者行方不明者、全壊建物13万棟弱の被害を生じ、今なお多くの方々が明日の見えない生活を強いられている。

また、世界には、戦争・紛争や災害、貧困や病気といった個々人の努力と能力では乗り越えがたい困難に直面しながら、自立支援を図る「奉仕」を待ち望んでいる人々が溢れている。

そこで、グループ6・7では、東北復興支援を呼びかけるとともに、初心に戻ってロータリーの奉仕の理想と奉仕の方法を学ぶ機会を提供することを目的とし、「東日本大震災復興支援」と題し、「がんばろう日本!再生と助けあい」をテーマとして、3月11日(日)、広島国際会議場「フェニックスホール」において本年度合同IMを開催した。

田村泰三ガバナー及び6名のパストガバナー等13名が来賓・ゲストとして参加され、グループ内14の全クラブから842名の全員登録をいただいた。

当日は東北大震災発災当日にあたっていたことから、開会に先立って参加者全員が震災犠牲者に黙祷を捧げた。

第1部の記念講演は南園義一もとRI理事・PGに「ロータリーの奉仕活動と戦略計画」と題して記念講演をいただいた。講演では、ポール・ハリスや菅生浩三もとRI理事、田中毅第2680地区PGの言葉や著書、ロータリーの綱領等が引用され、「奉仕の理想」は、人を愛し、人を敬い、人の幸せのために、いたわり合い、わかちあい、関わり合う「心の共有」であることが説かれるとともに、RI戦略計画の基本要点や自主性と継続性を持った実践活動の方法等について触れられた後、ロータリーのリーダーシップは、誰かが指令する「縦型」

ではなく、皆が「超我の奉仕」という同じ船に乗っている「横型リーダーシップ」であること等が熱く語られ、参加者の感動を呼んだ。

また、川妻二郎PGが飛び入り登壇され、2013年5月17・18日に広島で開催されるロータリー平和会議への参加・協力要請がなされた。

第2部では、福田敏勝地区副代表幹事が「東日本大震災復興支援の実績と課題」と題して報告を行った。被災直後の状況や現況、地区・各クラブの援助実績と今後の課題等が報告され、さらに、各クラブに支援・協力が呼びかけられた。

また、仙台南RC佐藤三生会長及び星毅幹事が登壇され、今までの援助に感謝の意を述べられ、会場から激励のための万雷の拍手を浴びておられた。

田村ガバナーによって講評とG6鵜野俊雄、G7永井勝康の次年度ガバナー補佐の紹介がなされ、定刻どおり、点鐘・終了した。

例年と異なり、懇親会も開催しない質素で短い開催時間のIMではあったが、所期の目的は十二分に達したと感じている。

最後に紙面を借りて今回合同IMにご協力いただいた方々、特に広島城南RCの皆さんに深く感謝の意を申し上げさせていただきます。



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相

最近のロータリー情報から

「RI長期計画からRI戦略計画へ!」	南園義一	2012 1p (D.2710月信)
「RMIアンケート調査(日本)概要報告」	RI	2010 2p
「RI広報に関するアンケート調査から得られた結果報告」	RI	2008 15p
「ロータリーの意味論(6)共通の希望、夢、願い」	久野 薫	2011 4p (D.2680月信)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

以下資料のご紹介を致します。

下記申込先:ロータリー文庫

「ロータリーの意味論(7)リーダーシップ」	久野 薫	2012 4p (D.2680月信)
「鈴木正三の思想とロータリー」	安平和彦	2012 8p (D.2680インテーシティ・ミーティング報告書)
「CLPを考える」	田村泰三	2011 1p (D.2710月信)
「まことのロータリアン」	大澤徳平	2011 1p (D.2640月信)

新会員紹介

(順不同)



謹んで
哀悼の意を
表します



因島RC
故柳澤ゆきひこ殿
2012年4月10日ご逝去（享年64歳）
●ロータリー歴／2003～04年度 SAA
2004～05年度 副幹事、2005～06年度 幹事
2006～07年度 広報常任委員長、2007～08年度 副会長
2008～09年度 会長エレクト
2009～10年度 会長 ベネファクター ポールハリスフェロー
●職業分類／築炉保温



三原RC
故由水茂文殿
2012年3月25日ご逝去（享年72歳）
●ロータリー歴／1997-98年 会長
2011-12年 グループ9 インターシティーミーティング 実行委員長
マルチブル・ポールハリスフェロー 1回
ベネファクター、米山功労者 3回、100%連続出席 28年
●職業分類／酒類販売